

令和6年度島根県市町村農林水産業振興対策協議会研修会 「しまねの畜産振興研修」 実施報告

島根県市町村農林水産業振興対策協議会

1 開催趣旨

「しまね和牛」は、古くから県内各地に根付く農業の基幹品目であるが、その評価は、全国産地の後塵を拝する時期が長く続いてきた。

そういった中、島根県では、令和元年度に策定した農林水産基本計画において肉用牛の振興方針を転換し、取組を進めた結果、令和4年の全国和牛能力共進会では、20年ぶりに肉質日本一に返り咲く成果が収められた。その後も、こういった成果を活かしながら新たな振興戦略も着手されている。

本研修は、島根県に共催をしていただき、これまでの県の取組や今後の振興戦略を紹介しながら、市町村や地域の関係者との連携を考察し、畜産業のさらなる発展と県内農業の振興に資することを目的として実施した。

2 実施日・場所

令和7年1月14日（火） 13:30～15:45

島根県畜産技術センター研修棟（出雲市古志町3775）

3 出席者

18名（市町村長、市町村の担当職員、島根県職員、町村会職員）

4 実施内容

①種雄牛舎、採精処理棟施設見学

②講演

演 題：しまね和牛の振興戦略について

講 師：島根県農林水産部畜産課課長 加地紀之 氏

田中会長（安来市長）挨拶



種雄牛舎、採精処理棟施設見学





暁之藤（あきのふじ） ※



※ 親牛の肉質が子牛に伝わる力などを数値化した「育種価」で、肉質、肉量ともに卓越した能力が証明され、島根県の「基幹種雄牛」に選抜されているスーパー種雄牛。

島根県農林水産部畜産課長 加地氏 講演

